

株主優待のご案内

1,000株以上ご所有の株主の皆さまに株主優待品を贈呈いたしております。

ポイント1.....

年2回の贈呈

6月末現在の株主の皆さま
▶ 9月頃送付
12月末現在の株主の皆さま
▶ 3月頃送付

ポイント2.....

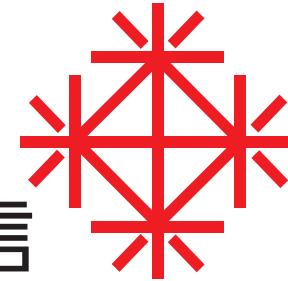
当社米穀製品を
お届けします。



6月末現在の株主さま	1,000株以上2,000株未満	2,000円相当の米穀製品
	2,000株以上	4,000円相当の米穀製品等※
12月末現在の株主さま	1,000株以上	3,000円相当の米穀製品

※うち2,000円相当は「切り餅」を12月中頃までに贈呈いたします。

第63期 株主通信



平成22年1月1日 ▶ 平成22年12月31日

トップインタビュー 環境変化に即応できる体制の構築

おいしい レシピ おコメを使った 菜の花&ホタテかき揚げ丼

ほろ苦い菜の花と貝の取り合わせが春らしい、ちょっとおしゃれな丼もの。

■ 調理時間25分 ■ カロリー：650kcal/1人分

材料 2人分

菜の花..... 1/2束
ホタテ貝柱(刺身用)..... 4個
小麦粉..... 50g
卵..... 1/2個
水..... 適宜
サラダ油..... 適宜
ごはん..... 2杯分
塩..... 少々
七味唐辛子..... 適宜
A
だし..... 大さじ2
みりん..... 大さじ2
しょうゆ..... 大さじ2

- 菜の花はたっぷりの水につけて洗い、大きな葉は摘み取って3cmの長さに切る。ホタテ貝柱は4等分に切って、塩少々をふる。
- 卵を溶き、水を加えて合わせて1/2カップになるまでのばし、小麦粉を加えて衣を作る。これに菜の花とホタテを入れてサッと混ぜる。
- 170℃の油に2をひと口大ずつ入れて揚げ、かたまってきたらひっくり返してパリッと揚げる。
- Aの材料を小鍋に入れ、中火で2~3分煮つめてたれを作る。
- 丼にごはんを盛り、かき揚げをのせてたれをかける。好みで七味唐辛子をふる。



日本食の素晴らしさを発信し、健康で楽しいライフスタイルの実現をサポートしてまいります。

変わらないもの

広域米穀卸としての確固たる地位

①主要取引先におけるトップシェアの堅持②新規取引先開拓の強化③中京・東海地区への営業強化④全国同水準の生産管理、品質管理の推進の4点の実行により、広域米穀卸としての確固たる地位を確保するために、更なる事業展開を進めてまいります。

業界トップクラスの規模

- 取引数量は年々増加
- 2012年12月期に取引数量60万トン为目标



おいしさをお届けする自社ブランド

- 家庭用精米として自社ブランド4シリーズを展開
- 新製品も随時発売(→P.9)



純づくり

変わるもの

グローバル展開と付加価値商品の開発

コメの消費減少や民間の在庫過多等により販売価格が下落する厳しい環境の中、すべてのお客さま、お取引先さまに喜ばれる「新たな価値創造」実現に向けて、「グローバルなコメビジネスの拡大」「新しい用途・付加価値商品開発の強化」等を積極的に推進してまいります。

当社グループだからできる

グローバルなコメビジネスの拡大

- ベトナム、タイ、中国、アメリカに拠点
- 三国間貿易が拡大



当社グループだからできる

コメの新たな価値創造

- 体にやさしい、マンナンヒカリ
- 1合パックで、おいしさキープ



「おこめにすすもう」シリーズ

環境変化に即応できる体制を構築し、ワンランク上の成長ステージを目指します。



代表取締役社長 平山 惇

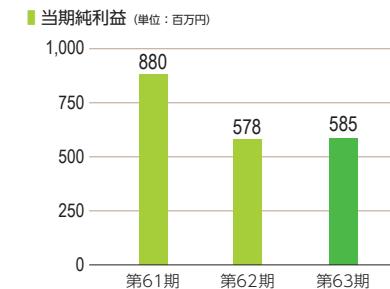
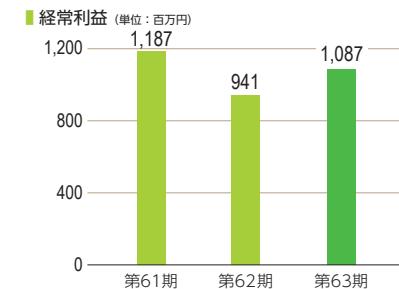
Q 当期(平成22年12月期)の営業状況と成果についてお聞かせください。

A 価格下落を受け減収ながら、米穀事業は販売数量を増加。計画的な仕入れによる利益改善を果たしました。

当期は、全般的に価格下落に見舞われた1年でした。主力の米穀事業では、民間在庫の過多を受けて平成21年産米が低価格で推移し、平成22年産米もさらに安値でスタートしました。当社では、ミニマム・アクセス米および **SBS米(→P.4)** の積極的な取り扱いや玄米販売の増加により、販売数量を拡大させたものの、販売価格の低迷を補うまでには至りませんでした。また、食品事業の惣菜加工分野や鶏卵事業も、量販店等での低価格販売による影響を受けました。

一方、飼料事業は、配合飼料の原料を販売する単味飼料業者が淘汰されつつある中で、当社は米穀事業から派生する「コメ糠ビジネス」としての強みも活かし、順調に新規取引先の開拓と販売数量の拡大を実現しました。

業績の推移(連結) [Consolidated Business Results]



利益面では、米穀事業における平成21年産米の計画的な仕入れと在庫管理により、製造・販売効率の最適化を果たし、適正な利益を確保することができました。

以上の結果、当期の連結業績は、売上高が前期比で減収となったものの、増益による利益回復を果たしました。(P.2グラフ参照)

Q 今後の成長戦略にかかわる米穀市場の動向と、それに対する取り組みをご説明願います。

A TPPへの参加をめぐる市場の変化をチャンスとして捉え、グローバルなコメビジネスの拡大を目指していきます。

現在、米穀業界における最も大きな話題は、**TPP** (→P.4)への参加をめぐる議論です。参加による関税撤廃が、日本の農業に甚大なダメージをおよぼすという懸念の声も聞かれますが、私は、TPPによる経済成長の機会に日本は乗り遅れるべきでないと考えています。日本は、TPPの枠組みの中で、自国の農業を力強く発展させるための施策を官民ともに作り上げていくべき段階にあります。米穀業界について言えば、付加価値の高い国内米を海外のニーズに向けて流通させていくことで、市場の拡大を図ることができるに違いありません。

海外市場に向けた当社のコメビジネスには、ベトナム子

会社であるアンジメックス・キトクを中心に、ジャボニカ米を生産し、東南アジア及び欧州に販売する「三国間貿易」の取り組みがあります。TPPの協定締結国や参加表明国には、シンガポール、オーストラリア、ベトナム、マレーシアといった、当社のグローバルなコメビジネスのターゲットとなる国々が含まれています。当社は、三国間貿易をよりスムーズにするTPPの恩恵を受け、日本の参加如何によらず、海外販売を拡大していくことができるでしょう。

一方で当社は、TPPによる包囲網の対立軸と見られる中国市場に対しても、成長への布石を打っています。今年2月には、中国・遼寧省の大連市に現地有力卸と合併による販売会社木徳(大連)貿易を設立し、**東北三省**(→P.4)で生産されたコメを日系小売業及び外食産業に精米・販売します。生活水準が向上した中国の食卓に、安全・安心な高級米として売り込んでいく計画で、将来的には日本産米の販売も行っていく考えです。

Q 次期(平成23年12月期)の見通しはいかがですか？

A 「カメレオン経営」の名のもと、環境変化に即応し、柔軟かつスピーディーな事業展開を図ります。

各市場については引き続き厳しい状況を予想していますが、当社は激しい環境変化に即応できる体制を構築し、

「カメレオン経営」の名のもとに柔軟かつスピーディーな事業展開を図っていきます。

米穀事業の足もとの状況は、平成22年産米の買付を終えて、好調な販売の滑り出しを示しており、通期での増収を見込んでいます。また次期は、企画開発事業部が取り組み続けてきた新商品の市場投入を予定しています。

こうした努力を通じて、当社はワンランク上の成長ステージへの脱却を目指し、平成24年に迎える創業130周年へのステップアップを遂げる1年にしてまいります。

Q 株主の皆さまへのメッセージをお願いします。

A 業績内容を勘案し、期末配当を増配。今後は海外市場の創造に積極的に取り組んでまいります。

当社は、将来の事業拡大に向けて内部留保を充実させつつ、株主の皆さまへの利益還元については、業績に応じた安定的配当の実施を基本方針としています。当方針に基づき、今回の期末配当金は、1株当たり1円の増配となる同4円とさせていただきます。これにより年間配当金は、同2円の間配当と合わせて同6円となりました。また、皆さまの生活におかれましても当社事業への親しみと共感の輪を拡げていただきたく、米穀関連製品による株主優待を引き続き実施しております。

当社は今後、国内市場における安定的成長を維持し

つつ、海外市場の創造に積極的に取り組んでまいります。株主の皆さまにおかれましては、新たな飛躍を目指す当社のチャレンジにご期待いただき、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

タイ王国政府商務省主催
「タイランド・ベスト・フレンド賞」を受賞



平山社長(左)、アピシット首相(右)

Pick Up! 飼料事業の成長

- 配合(混合)飼料の原料の販売数量及び営業エリアの拡大
- 業者の淘汰が進む中、国産品・輸入品とも取扱い強化
- 米穀事業の精米工程等から出るコメ糠類も活用



用語解説

SBS米

SBS=Simultaneous Buy and Sell system (売買同時入札制度)。ミニマム・アクセス米(日本政府が高関税によって米の輸入を制限する代わりに、最低限輸入する義務があるとされている量の外国米)のうち、輸入業者と卸業者が連名で売買同時入札を行う特別売買契約米。

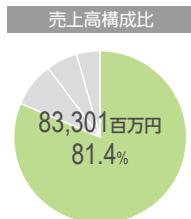
TPP

TPP=Trans Pacific Partnership (環太平洋戦略的経済連携協定)。太平洋周辺の広い地域の国々を対象に、参加国の間の経済制度(サービス、人の移動、基準認証など)における整合性を図り、貿易関税の撤廃を目指す協定。

東北三省

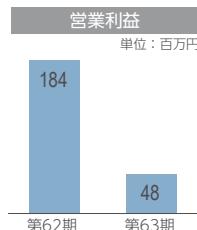
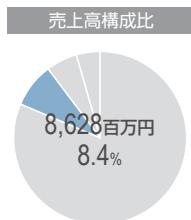
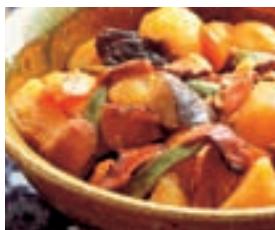
中国東北部に位置する黒龍江省、吉林省、遼寧省をまとめた呼称。ジャボニカ米をはじめ、豆類、トウモロコシを中心とした中国最大の農業地帯。近年、水不足が深刻化しており、ジャボニカ米生産の逼迫が懸念されている。

米穀事業



ミニマム・アクセス米の取扱いや玄米販売の増加により販売数量は増加したものの、販売価格は低迷したため、売上高は83,301百万円(前年同期比2.3%減)となりました。しかしながら、在庫管理の強化、販売コストの削減等が奏功し、加えて子会社の業績回復が寄与したため、営業利益は1,698百万円(同29.4%増)となりました。

食品事業



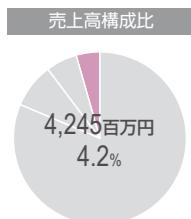
鶏肉販売分野では、取引先の小売店の廃業が頻発したため、販売は大変苦戦いたしました。惣菜加工販売分野では、消費者の節約志向の影響を受けて販売価格が低迷したこと等により、悪化いたしました。この結果、売上高は、8,628百万円(前年同期比0.5%減)、営業利益は48百万円(同74.0%減)となりました。

鶏卵事業



消費者の節約志向の影響を受けて鶏卵の消費は付加価値の高い特殊卵から価格の安い一般卵にシフトしたこと、生産調整の影響を受けて卸会社間の販売が低調であったこと等により、売上高は6,109百万円(前年同期比5.0%減)、営業利益は98百万円(同37.0%減)となりました。

飼料事業



配合飼料の価格は前年同期を下回る水準で推移いたしました。新規取引の開拓による販売数量の拡大に注力しながら、国産飼料原料販売の強化、輸入飼料原料取扱いの拡大等を引き続き推進した結果、売上高は4,245百万円(前年同期比4.1%増)、営業利益は258百万円(同3.5%増)となりました。

イベント情報

当社はコメビジネスを通して国内のみならず、海外を含め、世界中の消費者に日本米、日本食の素晴らしさを発信し、健康で楽しいライフスタイルの実現をサポートしてまいります。当期のイベント出展状況は以下の通りです。

第3回 ホビー・クッキングフェア2010

2010年5月6日(木)～8日(土) 東京ビッグサイト



ちょっとした工夫やひと手間で、食卓をより楽しく、そして、毎日の生活を豊かにすることを目的にした「食」に関心のある皆さまのためのフェアです。当社はタイ香り米の試食・販売を行いたくさんの方々にタイ香り米を使ったジャーハン・欧風カレーを味わっていただきました。

タイ・フェスティバル2010

2010年5月15日(土)～16日(日) 代々木公園



タイと日本の親交をより深めながら、タイ文化と伝統を広めるとともに、タイ料理を堪能してもらうことを目的としたフェスティバルです。当社のブースで振舞いましたタイ香り米を使用したタイカレーの試食は大変好評で、多くの方々にタイ香り米の風味を味わっていただきました。

タイ料理の夕べ2010

2010年11月4日(木) タイ王国大使館



ヤマモリ株式会社と共催で「タイ料理の夕べ2010」を開催し、各国大使館関係者・食品流通関係者・マスコミの方々を中心に200名以上の方々にご来場いただきました。タイ王国大使館内庭園にてタイ料理をお楽しみいただきながら、タイの文化にも触れていただきました。

東京外国語大学・第88回外語祭

2010年11月19日(金)～23日(火) 東京外国語大学府中キャンパス



東京外国語大学にて、それぞれの専攻語の1年生を中心とした学生から、その地域のお馴染みの料理、珍しい料理やお酒をふるまわれ、ご来場の皆さまに味わっていただきました。当社では、タイ香り米やこめしぼり等を提供した他、ライスマイルクの試飲会も行いました。

今後もホームページにてイベント情報を随時皆さまにお伝えします。
ご期待下さい！

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	当期 平成22年12月31日現在	前期 平成21年12月31日現在
資産の部		
流動資産	17,495	20,577
固定資産	8,228	8,525
有形固定資産	6,603	6,879
無形固定資産	87	74
投資その他の資産	1,538	1,571
資産合計	25,724	29,102
負債の部		
流動負債	16,981	21,120
固定負債	2,990	2,730
負債合計	19,971	23,850

純資産の部

株主資本	5,414	4,872
資本金	529	529
資本剰余金	331	331
利益剰余金	4,572	4,029
自己株式	△19	△18
評価・換算差額等	△101	△62
少数株主持分	440	442
純資産合計	5,752	5,252
負債及び純資産合計	25,724	29,102

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

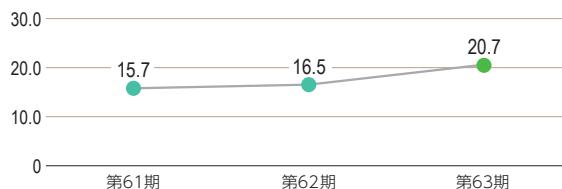
	当期 自平成22年1月1日現在 至平成22年12月31日現在	前期 自平成21年1月1日現在 至平成21年12月31日現在
売上高	102,284	104,429
売上原価	95,344	97,706
売上総利益	6,939	6,723
販売費及び一般管理費	5,712	5,681
営業利益	1,226	1,042
営業外収益	166	183
営業外費用	306	283
経常利益	1,087	941
特別利益	37	29
特別損失	136	51
税金等調整前当期純利益	988	920
法人税、住民税及び事業税	413	424
法人税等調整額	△24	△107
少数株主利益	14	24
当期純利益	585	578

ワンポイント

自己資本比率

- **総資産**: たな卸資産の減少額2,444百万円等により、前期末と比べ3,378百万円の減少
- **負債**: 短期借入金等の減少額3,697百万円等により、前期末と比べ3,879百万円の減少
- **純資産**: 利益剰余金の増加額542百万円等により、前期末と比べ500百万円の増加

自己資本比率 (単位: %)



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当期 自平成22年1月1日現在 至平成22年12月31日現在	前期 自平成21年1月1日現在 至平成21年12月31日現在
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,580	△2,134
投資活動によるキャッシュ・フロー	△246	△237
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,464	2,140
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△133	△230
現金及び現金同等物の期首残高	2,035	2,271
連結子会社合併による現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	24
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△30
現金及び現金同等物の期末残高	1,901	2,035

ワンポイント

連結キャッシュ・フロー

- **営業活動によるCF**: たな卸資産の減少2,412百万円等
- **投資活動によるCF**: 設備投資額の増加による支出341百万円等
- **財務活動によるCF**: 短期借入金の減少3,549百万円等

(単位:百万円)



連結株主資本等変動計算書(要旨) (自平成22年1月1日 至平成22年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成21年12月31日 残高	529	331	4,029	△18	4,872	△39	29	△52	△62	442	5,252
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当	—	—	△42	—	△42	—	—	—	—	—	△42
当期純利益	—	—	585	—	585	—	—	—	—	—	585
自己株式の取得	—	—	—	△0	△0	—	—	—	—	—	△0
自己株式の処分	—	—	—	0	0	—	—	—	—	—	0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	23	△44	△18	△39	△2	△41
連結会計年度中の変動額合計	—	—	542	0	542	23	△44	△18	△39	△2	500
平成22年12月31日 残高	529	331	4,572	△19	5,414	△15	△15	△71	△101	440	5,752

株主の皆様へのお知らせ

2011年4月にホームページをリニューアルします!



当社は2011年4月にホームページをリニューアルいたします。今回のリニューアルでは「みんなのお米広場」(仮)というお米を身近に感じていただけるコンテンツをご用意しております。是非ご覧下さい。(画像は開発中のものです。)

新商品のご案内

新潟コシヒカリ 使い切りサイズ 詰め合わせパック



- 少人数のご家族に最適
- お米2合分の無洗米×7パック入り
- 新潟県産コシヒカリを使用

株主アンケートにご協力下さい



今後の活動に反映させていただくため、アンケートを実施いたします。同封のアンケートハガキにご記入の上、最寄のポストへご投函下さい。何卒ご協力をお願い申し上げます。

会社概要 ● Corporate Data

■会社概要(平成22年12月31日現在)

商号 木徳神糧株式会社

事業内容 米穀事業、飼料事業、海外事業、コメ加工食品事業

本店所在地 〒104-0061 東京都中央区銀座7-2-22
同和ビル2階

本社所在地 〒132-0015 東京都江戸川区西瑞江2-14-6 NFビル
TEL : 03-5636-1501(代表)
FAX : 03-5636-1601

資本金 5億2,950万円

従業員数 167名(臨時雇用者を除く)

■役員(平成23年3月28日現在)

取締役・監査役

取締役会長 木村 良
代表取締役社長 平山 惇
取締役副社長 松山 正吉
専務取締役 山本 幸雄
取締役常務執行役員 三澤 正博
取締役常務執行役員 水野 正夫
取締役常務執行役員 伊豫田直記
取締役常務執行役員 小森 浩資
取締役執行役員 天川 誠
常勤監査役 高橋 健治
監査役* 松下 守
監査役* 杉野 翔子

執行役員

常務執行役員 稲垣 英樹
常務執行役員 鎌田 慶彦
執行役員 竹田 光男
執行役員 佐藤 善雄
執行役員 石田 俊幸
執行役員 大橋 正博

*印は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

株式情報(平成22年12月31日現在) ● Stock Information

■株式の状況

- (1) 発行可能株式総数 30,000,000株
- (2) 発行済株式の総数 8,530,000株
- (3) 株主総数 1,598名
- (4) 大株主

株主名	所有株式数	出資比率
木村謙三	405千株	4.74%
木村 良	342	4.00
濱田精麦株式会社	310	3.63
株式会社三菱東京UFJ銀行	300	3.51
黒田康敬	256	3.00
木村友二郎	243	2.84
稲垣辰彌	230	2.69
水野正夫	220	2.57
木徳神糧従業員持株会	201	2.36
株式会社三井住友銀行	186	2.18
農林中央金庫	186	2.18

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 出資比率は、小数点第3位を切り捨てて表示しております。

株主メモ ● Shareholders Memo

事業年度 1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月に開催いたします。

基準日 定時株主総会については12月31日、その他必要があるときはあらかじめ公告する一定の日

配当金受領株主確定日 12月31日及び中間配当金の支払を行うときは6月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所 株式会社大阪証券取引所

公告方法 日本経済新聞